2022/10/17

東アジア資金部 ソウル室 +82-2-3782-5859

先週のマーケット動向（10 月 11 日～10 月 14 日）

為替、株式

	Open	High	Low	Close	Chg
USD/KRW	1,428.0	1,438.1	1,422.1	1,428.5	+16.1
JPY/KRW	9.8090	9.8642	9.6635	9.6920	▲0.047
KOSPI	2,193.02	2,220.54	2,162.87	2,212.55	▲20.29

(Source: SMBS, Bloomberg)

先週のドル/ウォン相場は週初に上昇しその後はほぼ横ばい。7日に発表された良好な米雇用統計の結果を受け、3連休明けの10日にドル/ウォンは1,428.0にてオープン。さらに日中は中国が30あまりの都市でロックダウンを再開との報道等あり、人民元安となった他、ウクライナ情勢の悪化も手伝ってドル/ウォンは週高値1,438.1まで上昇した。12日にはBOKが市場予想通り0.5%利上げ（2.5%→3.0%）を実施。利上げ自体は市場で織り込み済みであったことから影響は限定的であったものの、BOK総裁が今回の利上げはウォン安防衛のため発言した直後から当局の為替介入と思われる動きが入りドル/ウォンは下落。13日海外時間には予想比強い米9月CPIが発表され、米10年債利回りが4.07%まで上昇する等したものの、ドル/ウォンについては目立った動意なく、1,430周辺でもみ合う展開が継続した。結局、先週末対比16.1ウォン上昇した1，428.5ウォンでクローズ。

* USD/KRW chart (source: Bloomberg)

* JPY/KRW chart (source: Bloomberg)

今週の見通し

今週のドル/ウォンは底堅い展開を予想する。米企業決算は概ね良好ではあるものの、市場の注目はインフレ率の動向となっている。既に市場では11月、12月それぞれで75bp以上の米利上げが行われることが織り込みずみである一方、株式市場はさらに調整余地がありそうだ。ドル/ウォンにおいては当局による為替介入が強く意識されることから、日中は上昇しにくいものの、海外時間に下値を切り上げる状況が継続するだろう。

予想レンジ

USD/KRW	JPY/KRW	USD/JPY
1430 ～ 1460	9.55 ～ 9.85	147.5 ～ 150.0

今後の予定

17日(月) 日 8月 鉱工業指数 確報値
米 10月 NY連銀製造業指数 確定値
18日(火) 米 9月 鉱工業生産 速報値
中 9月 鉱工業生産 速報値
中 9月 小売売上高 速報値
中 3Q GDP
19日(水) 欧 9月 CPI 確報値
米 9月 住宅着工件数 速報値
20日(木) 日 9月 貿易統計 速報値
米 9月 中古住宅販売件数 速報値
21日(金) 欧 10月 消費者信頼感指数 速報値
日 9月 CPI 速報値

当資料は情報提供のみを目的として作成したものであり、特定の取引の勧誘を目的としたものではありません。当資料は信頼できると判断した情報に基づいて作成されていますが、その正確性、確実性を保証するものではありません。ここに記載された内容は事前連絡なしに変更されることもあります。投資に関する最終決定は、お客様ご自身の判断でなさるようにお願い申し上げます。また、当資料の著作権はみずほ銀行に属し、その目的を問わず無断で引用または複製することを禁じます。